

# 日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第2四半期 決算補足資料

決算発表日：2020年11月13日

(ご注意) 本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

1. 総括	P3
2. 当四半期の実績	P4
3. 通期の業績予想	P9
4. 事業進捗の状況と下期の行動計画	P12
5. 参考情報	P23

(ご注意) 本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

## ✓ 当四半期の実績（累計）

- 営業収益541百万円(△21.7%)、最終利益△336百万円(約1.5億円の赤字削減)
- 株式の売却高は小型化したものの利益率は改善、評価損・引当金の減少も寄与

## ✓ 通期の業績予想

- 数値に変更なし。収益の内容は、株式売却の一部をプロジェクトの売却に変更
- 下期に見込んでいたIPOの一部が延期、株式売却益は通期で下振れ見込み
- メガソーラープロジェクト7件、18.3MWを売却する計画（一部売却含む）
- 新型コロナウイルス感染症の当社グループへの影響は、引き続き限定的と見込む

## ✓ 事業進捗の状況と下期の行動計画

- プロジェクト投資：各事業が成長しSDGsに貢献
  - 再エネ：バイオガスを生成する食品リサイクル事業が営業開始
  - スマートアグリ：植物工場（レタス）の販売が拡大
  - ヘルスケア：2件の障がい者グループホームが営業開始
- プライベートエクイ投資：地域金融機関との連携やアジアネットワークを拡大
  - 北海道地域中小企業グローバル化ファンドを新設、地域の金融機関が出資
  - ベトナム全土に280支店を有するマリタイムバンクと業務協力協定を締結

## 2. 当四半期の実績



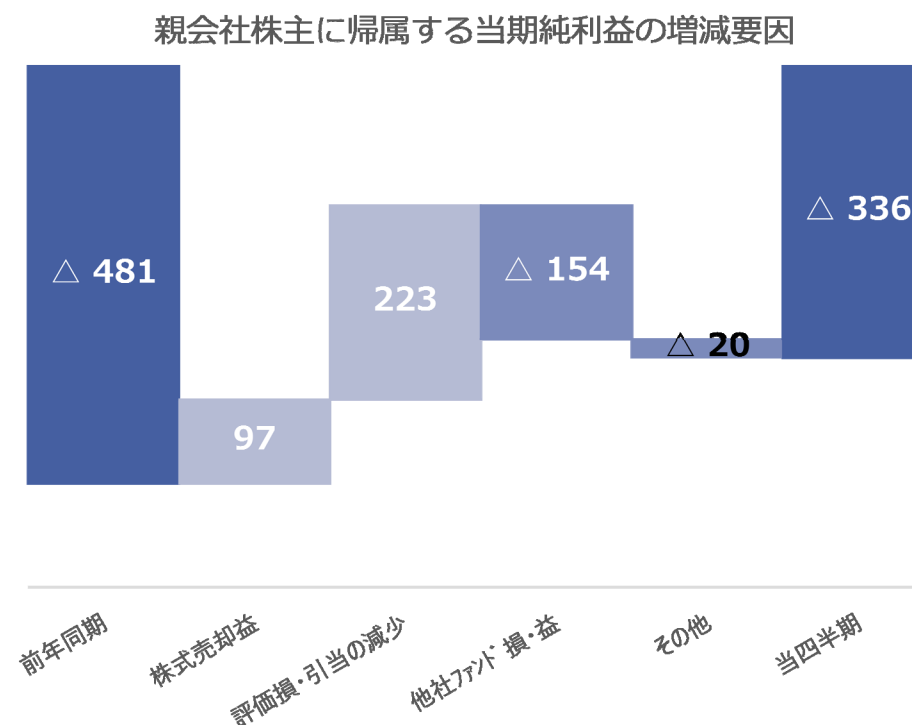
ハイライト P5

営業収益・営業原価内訳 P8

## 2. 当四半期の実績-ハイライト P/L



(単位：百万円)	2020/3期 2Q	2021/3期 2Q	
	金額	金額	増減率
営業収益	691	541	△21.7%
営業原価	582	313	△46.2%
営業総利益	108	227	109.1%
販管費	530	544	2.6%
営業利益	△421	△316	-
経常利益	△483	△335	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△481	△336	-



### ✓ 減収要因：

- ・前年同期は、売却損は発生するものの流動化を優先して、大型の未上場株式を売却
- ・当四半期は、上場株式の売却が中心となり未上場株式の売却は小型化

### ✓ 赤字削減要因：

- ・利益率の高い上場株式の売却により株式売却益が増加
- ・業績改善や回収額増加の見込まれる投資先の引当金を戻し入れたため、評価損・引当金が減少

## 2. 当四半期の実績-ハイライト B/S



(単位：百万円)	2020/3期末	2021/3期 2Q末		
	金額	金額	増減率	主な増減要因 (単位：億円)
総資産	15,800	<b>14,580</b>	<b>△7.7%</b>	
うち 現預金	3,920	<b>↓ 3,515</b>	<b>△10.3%</b>	返済△7、投融資△7、費用等△4.5、回収+14
うち プロジェクト投資 (営業投資有価証券・貸付金)	5,437	<b>↓ 4,915</b>	<b>△9.6%</b>	投融資実行+5、分配・回収△10
うち 戦略投資 (営業投資有価証券)	1,005	<b>1,155</b>	<b>14.9%</b>	投資実行+1.5
うち 戦略投資以外のPE投資 (営業投資有価証券(引当後))	4,282	<b>3,926</b>	<b>△8.3%</b>	分配・回収△2 持分益・含み損益△2.5
借入金	8,166	<b>↓ 7,469</b>	<b>△8.5%</b>	返済△7
自己資本	7,223	<b>6,732</b>	<b>△6.8%</b>	損失△3.3、含み益△1.5
現預金+プロジェクト投資△借入金	1,191	<b>↓ 961</b>	<b>△19.3%</b>	

- ✓ 現預金：借入金の返済、投融資実行により減少
- ✓ プロジェクト投資：分配や回収により残高が減少
- ✓ 財務バランス(※)：減少はしたものの一定水準を確保

(※現預金とプロジェクト投資営業資産の合計額と、借入金とを比較した財務バランス)

## 2. 当四半期の実績-ハイライト C/F



(単位：百万円)	2020/3期 2Q	2021/3期 2Q
営業活動によるCF	△870	↑ 326
投資活動によるCF	56	↓ △13
財務活動によるCF	△1,095	↑ △697
CF増減額	△1,920	△396
期末残高	2,161	2,326

- ✓ 営業CF：326百万円の収入  
投資の回収が進み黒字転換
- ✓ 投資CF：13百万円の支出  
本社移転に伴う固定資産の取得による支出が発生
- ✓ 財務CF：697百万円の支出  
返済額を減額したため支出額が減少

新規の投資資金と経常的な支払いは投資の回収資金で賄っているが、借入金の返済は手許のキャッシュ残高を減らして行っている状況

## 2. 当四半期の実績 – 営業収益・営業原価 内訳



(単位：百万円)	合計		プライベートエクイティ投資		プロジェクト投資	
	2020/3期 2Q	2021/3期 2Q	2020/3期 2Q	2021/3期 2Q	2020/3期 2Q	2021/3期 2Q
営業収益	691	541	586	↓ 402	104	↑ 139
管理運営報酬等	107	82	106	79	1	3
営業投資有価証券売却高	406	232	406	↓ 232	0	0
組合持分利益・イカゲイ等	155	198	66	85	89	↑ 113
その他営業収益	20	26	7	4	13	22
営業原価	582	313	531	239	50	74
営業投資有価証券売却原価	356	85	356	↓ 85	0	0
営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	160	△62	160	↓ △62	-	-
組合持分損失等	61	285	11	213	50	↑ 72
その他営業原価	2	3	2	2	-	1
営業総利益	108	227	54	↑ 162	54	↑ 64

- ✓ プライベートエクイティ投資：減収・増益
  - ・ 営業収益（営業投資有価証券売却高）：未上場株式の売却が小型化したため減少
  - ・ 営業原価（営業投資有価証券売却原価）：利益率の高い上場株式の売却中心となり減少
  - ・ 営業原価（評価損・引当金繰入額）：引当金の戻し入れにより減少
- ✓ プロジェクト投資：増収・増益
  - ・ 営業収益（組合持分利益・イカゲイ等）：売電を開始したプロジェクトが増加
  - ・ 営業原価（組合持分損失等）：植物工場の先行費用が増加



### 3. 通期の業績予想



業績見込値の詳細 P10

将来に関する記述等についてのご注意 P11

### 3. 通期の業績予想 – 業績見込値の詳細



単位：百万円	2021/3 2Q実績	上期見込 (2020年8月修正値)		通期見込 (修正なし)	
	金額	金額	達成率	金額	進捗率
営業収益	↓ 541	670	80.8%	3,250	16.7%
営業原価	313	490	63.9%	1,800	17.4%
営業総利益	227	180	126.6%	1,450	15.7%
販管費	544	570	95.5%	1,100	49.5%
営業利益	△316	△390	-	350	-
経常利益	△335	△420	-	200	-
親会社株主に帰属する当期純利益	↑ △336	△440	-	180	-

- ✓ 上期見込達成率：営業収益80.8%、最終赤字約1億円削減。
  - ・ 営業収益：上場株式の株価が想定を下回り売却が進捗しなかったため見込みから下振れ
  - ・ 赤字幅：投資損失引当金の戻し入れが発生したため削減
- ✓ 通期見込：修正なし
  - ・ 下期に見込んでいたIPOのうち一部が延期、株式売却益は通期で下振れ見込み
  - ・ 下期の株式売却益は、大口の海外未上場株の売却が中心となる見込み
  - ・ メガソーラープロジェクト7件、18.3MWを売却する計画（一部売却含む）
  - ・ 3Qまでは赤字の見込み

- ✓ 業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。
- ✓ しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の確度は低いものの、参考情報として開示しております。
- ✓ なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

## 4.事業の進捗状況と下期の行動計画



プロジェクト投資	P13
----------	-----

プライベートエクイティ投資	P21
---------------	-----

## 4. 事業の進捗状況と下期の行動計画 – 進捗状況 – プロジェクト投資



### 再生可能エネルギー

- ・メガソーラープロジェクト4件、合計5.0MWが売電開始
- ・バイオガスを生成する食品リサイクル事業を開始

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



12 つくる責任  
つかう責任



### スマートアグリ

大手コンビニエンスストア向け販路開拓に成功、コロナ禍により拡大した中食需要も獲得し、植物工場（レタス）の販売が拡大

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



### ヘルスケア

2件の障がい者グループホームが営業開始

11 住み続けられる  
まちづくりを



### ディストリビューションセンター

開発資金の大半を拠出するメイン投資家や融資先が確定

8 働きがいも  
経済成長も



9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



## 売電開始プロジェクト 4件、合計5.0MW

厚岸ルークシュポール太陽光発電所



所在地	北海道厚岸郡
最大出力	2.3MW (*1)
予想発電電力量	年間約2,574MWh (*2)
売電開始	2020年5月
買取価格 (FIT)	40円/kWh (税抜)

\*1: 太陽電池パネル設置容量ベース (以下同じ)  
 \*2: 一般家庭約530世帯分相当の年間消費電力量  
 (太陽光発電協会「表示ガイドライン (2019年度)」に基づき  
 4,825kWh/年にて換算、以下同じ)

福岡県うきは市 ソーラーシェアリング (営農型太陽光発電所)



地図提供「Craft MAP」

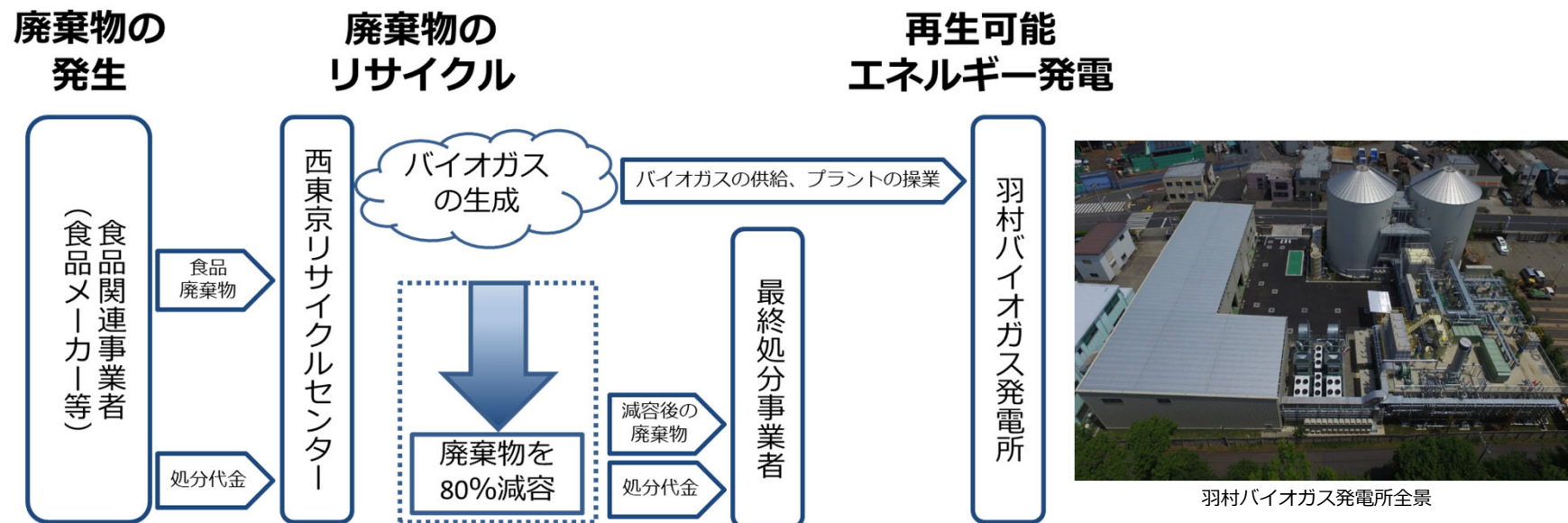
発電所名	うきは市しらかべ太陽光発電所 うきは市みずのさと太陽光発電所 うきは市みのうアルプス太陽光 発電所
最大出力	合計3.0MW
予想発電電力量	年間約3,341MWh (*)
売電開始	2020年3月～5月
買取価格 (FIT)	36円/kWh (税抜)

\*一般家庭約690世帯分相当の年間消費電力量



営農者の(株)モス山形により、  
 パネルの下で緑化用資材  
 となるコケを栽培する  
 営農型太陽光発電所

## バイオガスを生成する食品リサイクル事業 ～食品廃棄物を再生可能エネルギーに変えて再利用～



- ・当社の投資先である株式会社西東京リサイクルセンターは、食品廃棄物を再生可能エネルギーに変えて再利用する食品リサイクル事業を行う
- ・食品メーカーなどの関連事業者から対価を得て食品廃棄物を引き取り、メタン発酵により食品廃棄物を80%程度減容し、その過程でバイオガス（メタンガス）を生成
- ・生成されたバイオガスは、再生可能エネルギーとして、羽村バイオガス発電所で利用される
- ・2020年7月に羽村バイオガスプラントが竣工、8月に同社が産業廃棄物処分業許可を取得し事業開始

## 4. 事業の進捗状況と下期の行動計画 – 進捗状況 – 食品リサイクル事業 ▲ JAIC



リサイクルに適したもの

### 受け入れ可能な食品廃棄物について

製造工程中の残渣、期限切れ・回収製品、食材の切れはし、鮮度の落ちた野菜、在庫品処分  
※プラスチック容器入りやビニール、ラップ等包装されたままでも受入可能



パック・包装材入り



個別の対応が必要なもの

含水率の極端に低い食品、油分の多い食品、塩濃度0.35%以上の食品類



冷凍食品  
(解凍されていれば可)



粉状物



ビン類



缶類



段ボール入り



リサイクルに向かないもの

- ・食器類、ナイフ、フォーク ・雑誌、新聞、古紙類
  - ・中身の入っていない、びん、缶、PETボトル
  - ・衣類、カバン、靴 ・大きな骨、大量の貝殻、大量のエビ・カニの殻、大量の卵の殻
  - ・鉱物廃油 ・観賞用植物、花、樹木、葉
- ※生ゴミと交じり合って分別出来ない場合はそのまま受け入れ可能

異物が多い例





## 障がい者グループホーム2件が営業開始



### グループホーム概要

名称	ソーシャルインクルーホーム浜松神田町(かみだまち)
所在地	静岡県浜松市中区神田町
開所日	2020年8月1日
部屋数	入居者用20部屋、短期入所用2部屋
グループホーム種類	日中サービス支援型
運営者	ソーシャルインクルー株式会社

- ・同地域で福祉関連施設をはじめとする多数の実績を有する小林建設(株)が建設

グループホームでは、20名程度の身体・知的・精神障がいを持つ方が、24時間常駐の世話人の支援を受けながら共同生活をします。従来の障がい者向け入所施設に比べ小規模なため、入居者ひとりひとりのニーズに沿った支援が可能となります。また、入居の効果として、孤立の防止、生活への不安の軽減、共同生活による身体・精神状態の安定などが期待されています。

### グループホーム概要

名称	ソーシャルインクルーホーム広島狩留家町Ⅱ(かるがちょう)
所在地	広島県広島市安佐北区狩留家町
開所日	2020年8月1日
部屋数	入居者用20部屋、短期入所用2部屋
グループホーム種類	日中サービス支援型
運営者	ソーシャルインクルー株式会社

- ・呉信用金庫より融資を受けたプロジェクト
- ・同地域で多数のグループホームの実績を有する(有)栄成(しげなり)興産が建設

## 4.事業の進捗状況と下期の行動計画－進捗状況－ディストリビューションセンター

### パートナー企業のKICホールディングスと2件の施設を開発中

KIC越谷ディストリビューションセンター



完成予想図

所在地	埼玉県越谷市大里下371番地 他
アクセス	東北自動車道「浦和IC」より 約6km、東武スカイツリーライ ン「大袋駅」より約1km
延床面積	11,250m <sup>2</sup> 、地上4階建
竣工予定	2021年10月

KIC厚木ディストリビューションセンター



完成予想図

所在地	神奈川県厚木市下衣知字中河 原673-1他
アクセス	圏央自動車道「圏央厚木IC」 から約1.46km、JR相模線 「海老名駅」から約1.8km
延床面積	10,890m <sup>2</sup> （予定）、地上2 階建
竣工予定	2022年2月

## 4. 事業の進捗状況と下期の行動計画－行動計画－プロジェクト投資



### 再生可能エネルギー

- ・ バイオガスの供給量を安定させ、羽村バイオガス発電所を稼働する
- ・ 発電中のメガソーラープロジェクト7件、18.3MWを売却する



### スマートアグリ

- ・ 篠山工場（レタス）の黒字化に道筋をつけ、2号工場に取り組む
- ・ 戦略投資先MD-Farm（イチゴ）社の販売候補先を開拓する



### ヘルスケア

- ・ 2件の障がい者グループホームを新規に開発する
- ・ 金融機関と連携し障がい者グループホームの規模拡大手法を検討する
- ・ 1件の高齢者施設に投資を実行する



### ディストリビューションセンター

- ・ 投資した施設について、借り手や売却候補先を開拓する
- ・ 新規施設の開発を進め、合計12億円の新規投資を行う

## 4. 事業の進捗状況と下期の行動計画 – 行動計画 – 植物工場（イチゴ）

### MD-Farmの手掛けるイチゴの工場栽培



#### 国産イチゴの市場規模

- ・国内主要青果物のうち、卸売単価、卸売総額が最大規模
- ・路地物の供給は11月下旬～5月上旬の半年間に限定
- ・オフシーズンに供給可能となれば、大きな潜在需要が存在

#### 技術革新

- ・独自開発技術により、閉鎖型植物工場ですべての年間安定栽培に成功
- ・年間を通して、安定した味・大きさに栽培可能

#### 製品の特長

- ・夏秋期やクリスマスにも、安定した採れたての鮮度
- ・国産、完全無農薬のため、洗浄せずに食用可能
- ・香りが高く、糖度14度（調整可能）

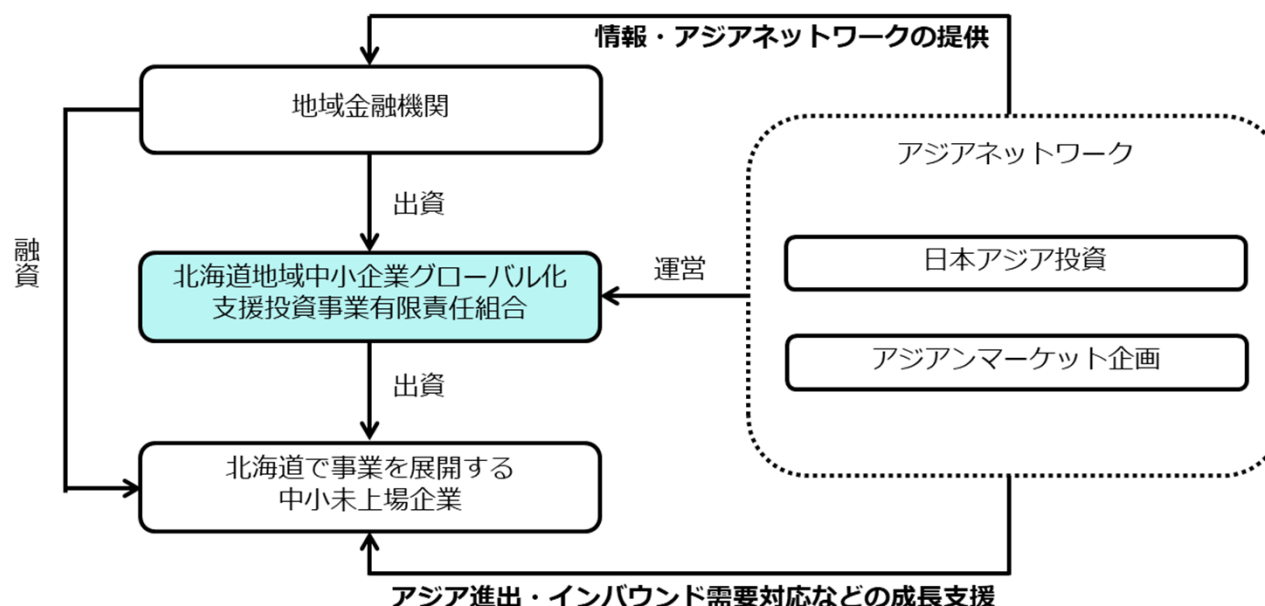
#### 会社概要



会社名	MD-Farm（エムディーファーム）株式会社
本社所在地	新潟県新発田市中曾根町2-6-7-1
事業内容	イチゴの植物工場システム開発、生産販売
代表者	代表取締役 松田 祐樹
設立	2018年3月26日
資本金	53百万円
URL	<a href="https://www.md.farm/">https://www.md.farm/</a>

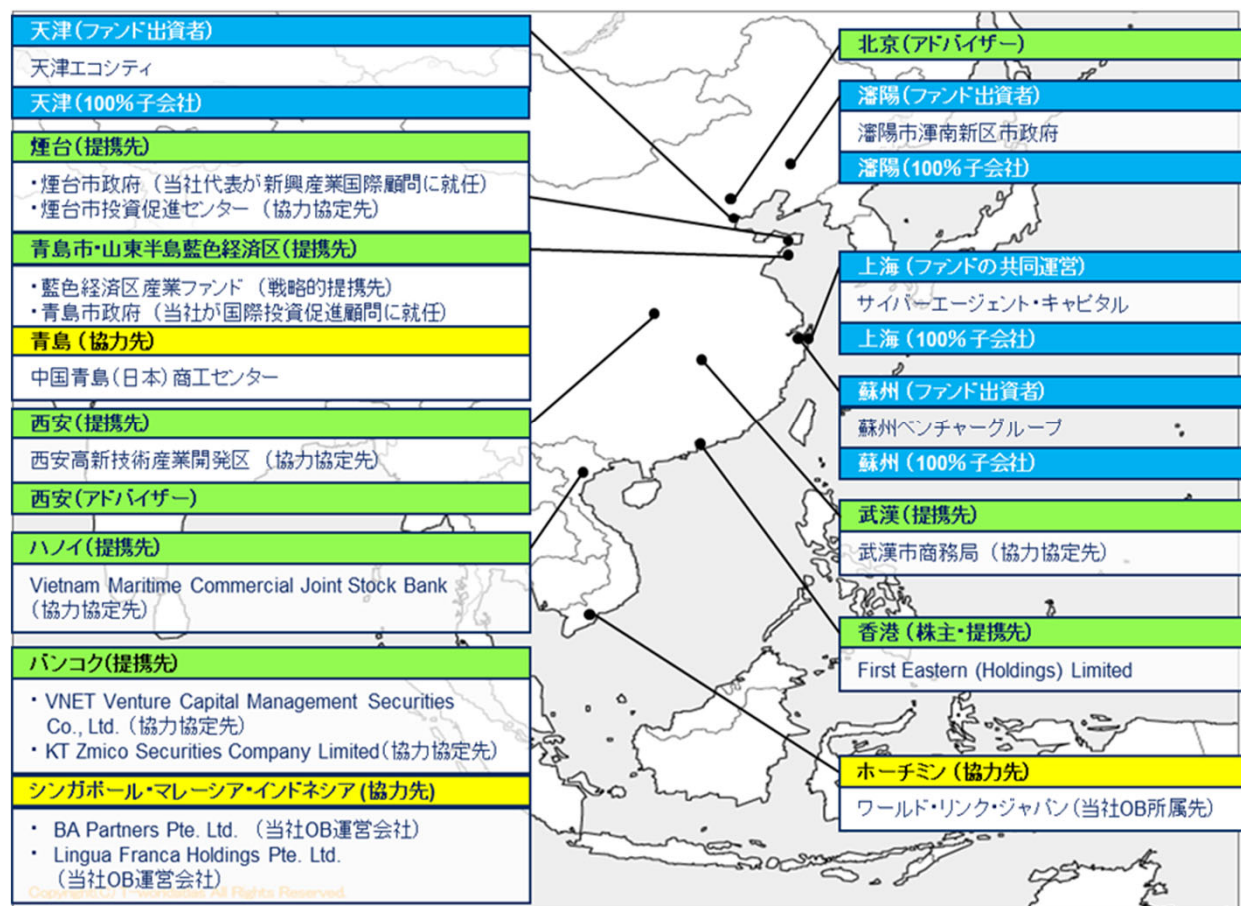
## 北海道地域中小企業グローバル化支援ファンド ～地域の中堅中小企業の海外展開をサポート～

ファンド運営者	日本アジア投資株式会社、株式会社アジアマーケット企画（当社提携先）
有限責任組合員	地域金融機関
ファンド総額	151百万円
投資対象	北海道に所在もしくは事業基盤のある中堅中小企業のうち、海外で既に事業を展開している企業、今後進出を目指す企業、インバウンド需要を捉えた事業を推進する企業
設立日	2020年4月1日



## ベトナム全土に280支店を展開する商業銀行 Vietnam Maritime Commercial Joint Stock Bankとの協力協定

アジアのビジネスネットワーク



・ Vietnam Maritime Commercial Joint Stock Bank、(株)アジアマーケット企画との3社間で協力協定を締結

・ 今後は協力の下、日系その他のアジア企業に対して、クロスボーダービジネスやベトナム企業とのM&Aニーズに関連して、銀行サービスその他の資本提携機会を提供する



Vietnam Maritime Commercial Joint Stock Bank会社概要

本社	54A Nguyen Chi Thanh Street, Lang Thuong Ward, Dong Da District, Ha Noi, Vietnam
代表者	Chairman : Mr. Tran Anh Tuan
設立	1991年
総資産	144兆ベトナムドン (約6,600億円)
URL	<a href="https://www.msb.com.vn/">https://www.msb.com.vn/</a>

## 5. 参考情報



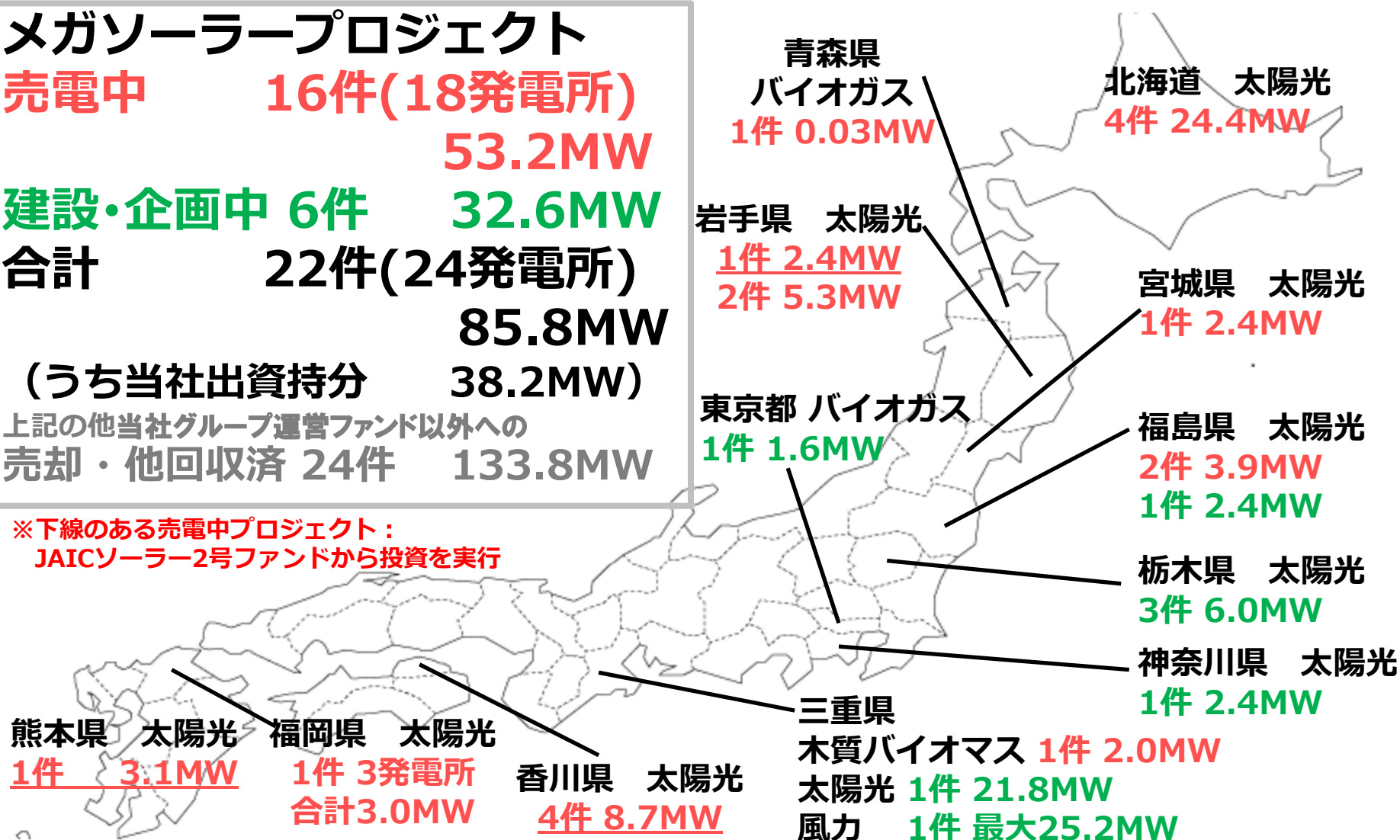
再生可能エネルギープロジェクト一覧	P24
プロジェクト投資 案件一覧	P25
プライベートエクイティ投資 投資残高内訳	P27
ファンド運用残高・投資残高・営業投資有価証券残高の関係	P28
主要データの推移	P29
営業収益・営業原価 内訳	P31
投資領域	P32
JAICの強み	P33
収益構造	P34
会社概要	P36

## 5. 参考情報 – 再生可能エネルギープロジェクト一覧 (2020年9月末)



<b>メガソーラープロジェクト</b>	
<b>売電中</b>	<b>16件(18発電所)</b> <b>53.2MW</b>
<b>建設・企画</b>	<b>6件</b> <b>32.6MW</b>
<b>合計</b>	<b>22件(24発電所)</b> <b>85.8MW</b>
<b>(うち当社出資持分 38.2MW)</b>	
上記の他当社グループ運営ファンド以外への	
<b>売却・他回収済</b>	<b>24件 133.8MW</b>

※下線のある売電中プロジェクト：  
JAICソーラー2号ファンドから投資を実行



※各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動しておりません。



## プロジェクト投資 案件一覧-1 (2020年9月末)



プロジェクト種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)	プロジェクト総額
メガソーラー発電	1	熊本県球磨郡錦町 (※)	3.1	売電中 (2015年12月売電開始)	40	約10.5億円
	2	野間池ソーラー発電所 (※)	2.4	売電中 (2017年5月売電開始)	36	約8億円
	3	福島猪苗代太陽光発電所	1.2	売電中 (2017年9月売電開始)	36	約3.4億円
	4	御田神辺池ソーラー発電所 (※)	1.5	売電中 (2017年9月売電開始)	32	約5億円
	5	岩手一関ソーラーパーク (※)	2.4	売電中 (2018年1月売電開始)	36	約8億円
	6	帯広ソーラーパーク	4.4	売電中 (2018年3月売電開始)	40	約22億円
	7	中王田池ソーラー発電所 (※)	2.4	売電中 (2018年4月売電開始)	36	約8.6億円
	8	一関市吉高太陽光発電所	2.6	売電中 (2018年6月売電開始)	36	-
	9	東王田池ソーラー発電所 (※)	2.4	売電中 (2018年7月売電開始)	36	約8.6億円
	10	一関市鈴ヶ沢太陽光発電所	2.7	売電中 (2018年10月売電開始)	36	-
	11	加美ソーラーパーク	2.4	売電中 (2018年10月売電開始)	36	約9.6億円
	12	北海道紋別市弘道太陽光発電所	15.7	売電中 (2020年2月売電開始)	40	約66億円
	13	北海道亀田郡七飯 (ななえ) 町	2.0	売電中 (2020年3月売電開始)	36	-
	14	三重県	21.8	建設・企画中	24	-
	15	福島県	2.4	建設・企画中	32	-
	16	広野ソーラーパーク	2.7	売電中 (2020年2月売電開始)	40	-
	17	厚岸ルークシュポール太陽光発電所	2.3	売電中 (2020年5月売電開始)	40	-
	18	神奈川県	2.4	建設・企画中	32	-
	19	うきは市しらかべ太陽光発電所、 うきは市みずのさと太陽光発電所、 うきは市みのうアルプス太陽光発電所	合計3.0	売電中 (2020年3月～5月売電開始)	36	-
	20	栃木県	2.0	建設・企画中	36	-
	21	栃木県	2.0	建設・企画中	32	-
	22	栃木県	2.0	建設・企画中	32	-
合計 85.8MW (うち当社出資持分 38.2MW)						

## プロジェクト投資 案件一覧-2 (2020年9月末)

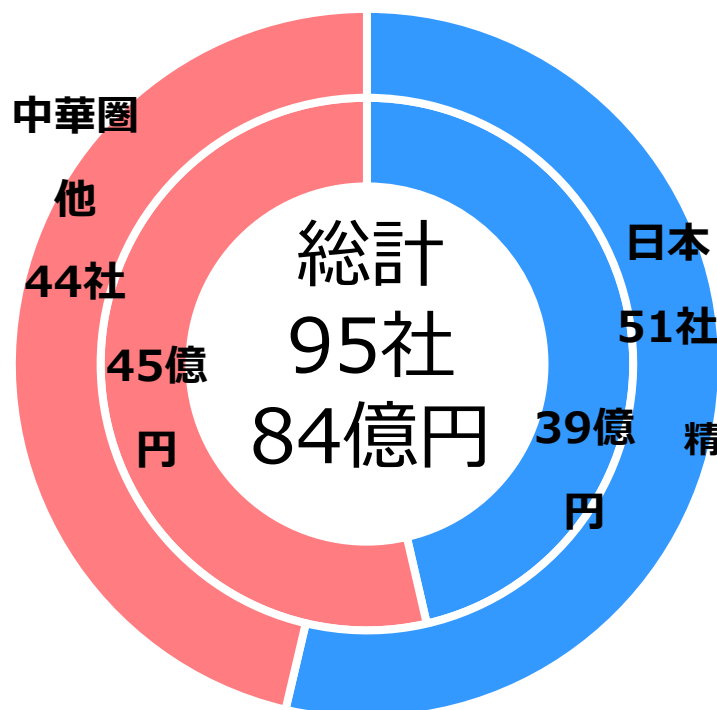


プロジェクト種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)	プロジェクト総額
木質バイオマス発電		三重県松阪市	2.0	売電中 (2018年1月売電開始)	-	-
バイオガス発電	1	東京都	1.6	売電準備中	39	-
				バイオガスを生成する食品リサイクル会社	-	-
	2	青森東北町発電所	0.03	売電中 (2018年11月売電開始)	39	-
風力発電		三重県	最大25.2	建設・企画	22	-
植物工場		兵庫県丹波篠山市	-	操業中 (2019年3月操業開始)	-	約7億円
高齢者向け施設		東京都江東区東雲	-	建設・企画	-	-
障がい者グループホーム	1	静岡県浜松市	-	営業中 (2020年8月営業開始)	-	-
	2	栃木県宇都宮市	-	建設・企画	-	-
	3	広島県広島市	-	営業中 (2020年8月営業開始)	-	-
商業ビル		愛知県	-	営業中 (既存ビルへの投資)	-	-
物流施設	1	埼玉県越谷市	-	建設・企画	-	-
	2	神奈川県厚木市	-	建設・企画	-	-

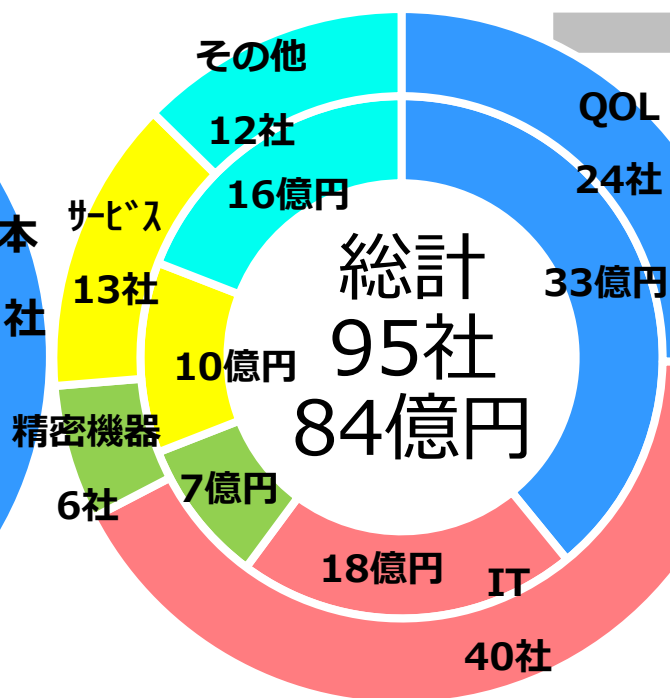
※：JAICソーラー2号投資事業有限責任組合から投資しているプロジェクト。

# 投資残高 95社、合計84億円

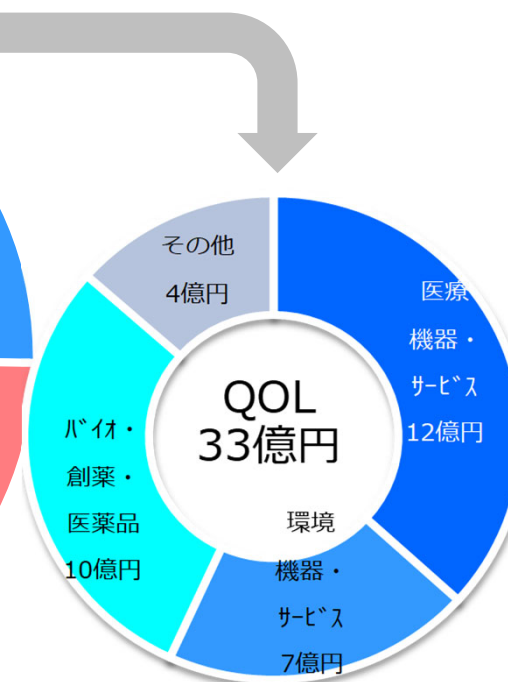
【地域別内訳】



【業種別内訳】

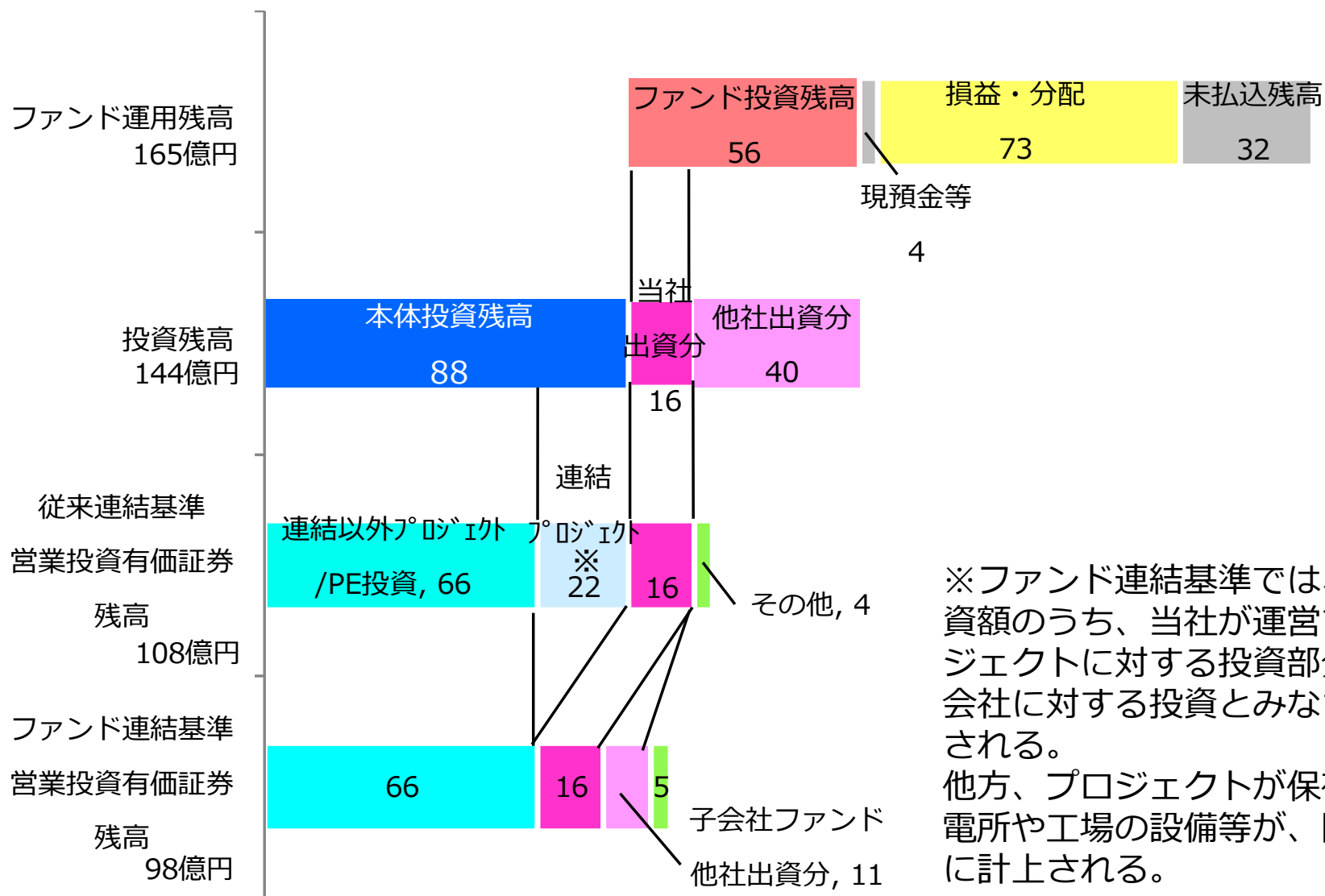


【QOL内訳】



1社当たり平均投資金額：  
日本76百万円、中華圏他102百万円/QOL136百万円、IT44百万円

# ファンド運用残高・投資残高・営業投資有価証券残高の関係



※ファンド連結基準では、本体投資額のうち、当社が運営するプロジェクトに対する投資部分は、子会社に対する投資とみなされ消去される。  
他方、プロジェクトが保有する発電所や工場の設備等が、固定資産に計上される。

## 主要データの推移 ①



### ・ファンドの状況、投資の状況

(単位：百万円)	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	20/3(2Q)	21/3(2Q)
ファンド設立・増加額	5,201	500	1,000	2,000	1,359	-	151
ファンド運用残高	39,335	28,753	19,150	16,494	17,390	15,948	16,556
うち 当社グループ出資額	14,004	9,427	5,867	5,344	5,163	5,131	4,928
投資実行額 総額	4,093	4,315	3,887	3,749	3,374	1,745	533
投資残高 総額	18,783	16,558	13,981	13,951	15,101	14,678	14,376
投資実行額 内訳（プライベートエクイティ投資）	1,304	1,131	1,205	136	1,224	824	158
投資残高 内訳（プライベートエクイティ投資）	15,061	11,981	10,398	8,437	8,405	8,260	8,375
投資実行額 内訳（プロジェクト投資）	2,788	3,184	2,681	3,612	2,150	920	374
投資残高 内訳（プロジェクト投資）	3,722	4,576	3,582	5,514	6,696	6,418	6,000

## 主要データの推移 ②



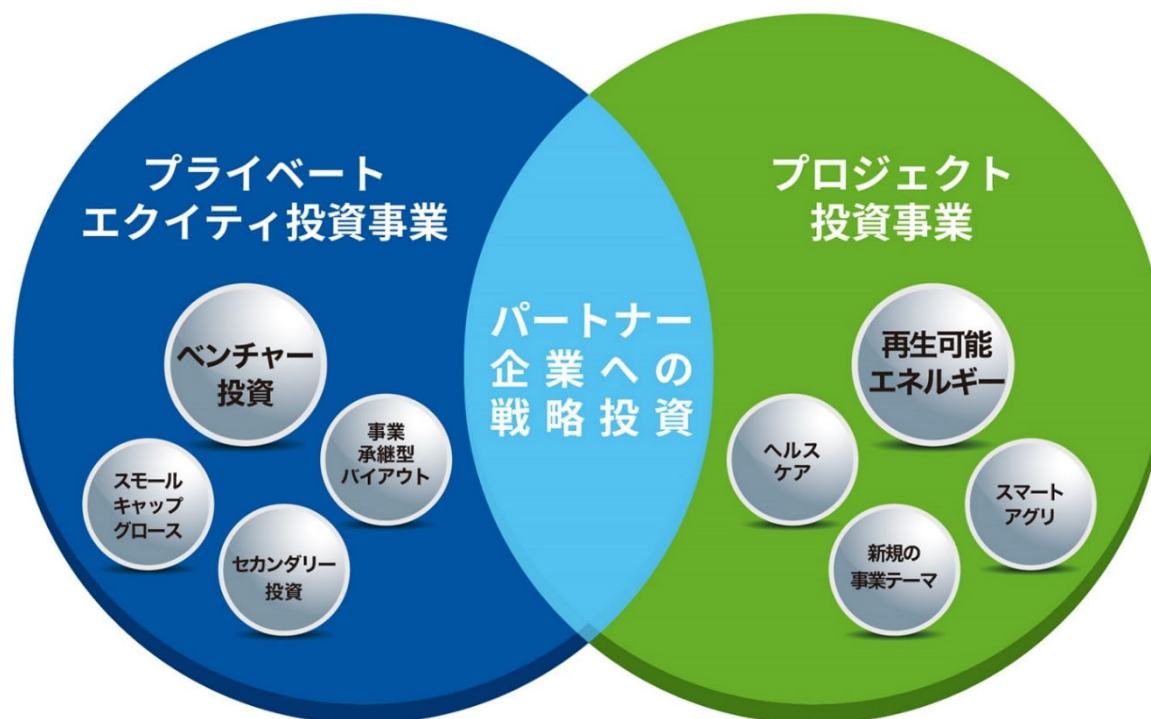
## ・業績、財務状況

(単位：百万円)	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	20/3(2Q)	21/3(2Q)
<b>業績</b>							
営業収益	4,043	3,926	5,403	2,475	2,760	691	541
営業総利益	1,554	2,176	2,328	1,286	1,359	108	227
販売費及び一般管理費	1,472	1,339	1,311	1,109	1,094	530	544
営業利益	82	836	1,017	177	265	△421	△316
経常利益	612	726	954	83	140	△483	△335
親会社株主に帰属する当期純利益	597	553	874	578	302	△481	△336
<b>財務状況</b>							
現預金	8,202	6,213	7,308	5,564	3,920	2,825	3,515
営業投資有価証券・貸付金（プロジェクト投資）	3,722	4,081	3,582	5,514	5,437	6,667	4,915
営業投資有価証券（戦略投資投資）	100	100	373	373	1,005	745	1,155
引当後 営業投資有価証券 （戦略投資以外のプライベートエクイティ投資）	8,126	7,256	5,657	4,765	4,282	4,577	3,926
借入金	16,910	14,128	11,954	9,784	8,166	8,689	7,469
自己資本	4,976	5,686	6,545	6,840	7,223	6,507	6,732
総資産	22,680	20,305	19,220	17,305	15,800	15,761	14,580

## 営業収益・営業原価 内訳



(単位：百万円)		16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	20/3(2Q)	21/3(2Q)	増減率(%)
<b>1.</b>	<b>投資事業組合等管理業務</b>								
	管理運営報酬等	441	364	277	241	199	107	82	△23.1%
	成功報酬	288	101	86	-	-	-	-	-
	営業収益	729	466	364	241	199	107	82	△23.1%
	営業原価	-	-	-	-	-	-	-	-
	<b>営業総利益</b>	<b>729</b>	<b>466</b>	<b>364</b>	<b>241</b>	<b>199</b>	<b>107</b>	<b>82</b>	<b>△23.1%</b>
<b>2.</b>	<b>投資業務</b>								
	営業投資有価証券売却高	2,954	2,275	3,219	1,746	2,349	406	232	△42.8%
	組合持分利益・インカムゲイン等	345	1,159	1,677	429	172	155	198	27.4%
	営業収益	3,300	3,434	4,897	2,176	2,521	562	431	△23.3%
	営業投資有価証券売却原価	1,863	1,423	2,469	554	965	356	85	△75.9%
	営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	569	274	562	579	245	160	△62	-
	組合持分損失等	47	46	36	49	184	61	285	361.8%
	営業原価	2,481	1,744	3,069	1,182	1,395	579	309	△46.6%
	<b>営業総利益</b>	<b>818</b>	<b>1,690</b>	<b>1,827</b>	<b>993</b>	<b>1,125</b>	<b>△16</b>	<b>122</b>	<b>-</b>
<b>3.</b>	<b>その他</b>								
	営業収益	13	25	142	57	40	20	26	29.5%
	営業原価	7	6	5	6	5	2	3	44.1%
	営業総利益	5	19	136	51	34	18	23	27.5%
<b>合計</b>									
	<b>連結営業収益</b>	<b>4,043</b>	<b>3,926</b>	<b>5,403</b>	<b>2,475</b>	<b>2,760</b>	<b>691</b>	<b>541</b>	<b>△21.7%</b>
	<b>連結営業原価</b>	<b>2,488</b>	<b>1,750</b>	<b>3,074</b>	<b>1,188</b>	<b>1,401</b>	<b>582</b>	<b>313</b>	<b>△46.2%</b>
	<b>連結営業総利益</b>	<b>1,554</b>	<b>2,176</b>	<b>2,328</b>	<b>1,286</b>	<b>1,359</b>	<b>108</b>	<b>227</b>	<b>109.1%</b>



## プライベートエクイティ投資

成長性の高いベンチャー企業やスモールキャップ企業、事業承継問題を抱える中小・中堅企業に対し成長資金を投資します。投資後は、当社が日本とアジアに有するリソースを活用して、企業の成長戦略を支援します。

## 戦略投資

当社の注力する事業テーマに関連する企業に、戦略的な投資を行います。投資後は、当社が事業上のパートナーとなり、事業での協業を通じて、資金支援や営業支援を行います。

## プロジェクト投資

メガソーラーを始めとする再生可能エネルギーや、介護施設などのヘルスケア、植物工場などのスマートアグリ、物流施設のディストリビューションセンタープロジェクトに投資をしています。プロジェクトファイナンスによる融資資金を活用して投資の採算性を追求します。



## JAICの強み



投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握しています。

最先端の  
業界情報収集力

アジアでの歴史

1981年に経済同友会を母体に設立されて以来、35年に亘り日本とアジアの経済交流に貢献し、アジアでの高い知名度を有しています。

JAIC

ファイナンス  
スキーム構築力

ベンチャー企業との  
ネットワーク

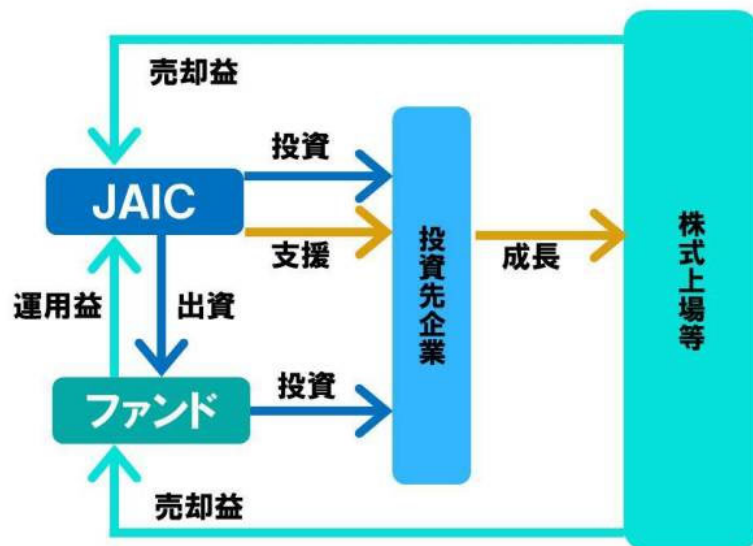
国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築しています。  
そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用します。

国内外で3,300億円の累計投資実績を有しています。  
プロジェクト投資事業では、当社からの投資資金だけでなく、プロジェクトファイナンスなどの融資資金も交えた調達スキームを構築しています。

## 収益構造-投資業務



### ●投資業務：プライベートエクイティ

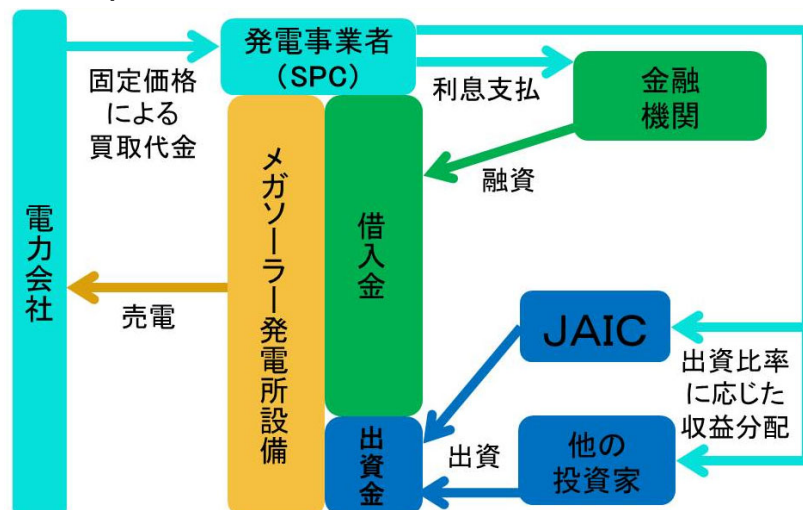


投資資金は、

- ・ JAIC自身の手元資金からの拠出
- ・ ファンドを通じて国内外のファンド出資者から運用を委託された資金の2通りがあります

ファンドには、JAIC自身も一部出資し、出資比率に応じた運用益を獲得します。

### ●投資業務：再生可能エネルギープロジェクト



発電事業者は、発電所建設資金を、

- ・ JAIC、他の投資家の出資金
  - ・ 金融機関からの借入金
- の2通りで調達し、発電所を保有します。

発電した電力は、固定価格で電力会社買い取られます

JAIC等の投資家は、出資比率に応じて、売電を源泉とした安定収益を獲得します

## 収益構造-ファンド管理業務



### ●投資事業組合等（ファンド）の管理業務



ファンドの管理業務では、

- ・ 経常的な管理・運営に対して受領する管理報酬
- ・ ファンドのパフォーマンスに応じて受領する成功報酬

の2種類の報酬があります

## 会社概要（2020年9月末現在）



会社名	日本アジア投資株式会社（略称）JAIC		
本社所在地	東京都千代田区九段北3丁目2番4号		
設立年月日	1981年7月10日		
資本金	5,426百万円		
株式上場市場	東京証券取引所 市場第一部（証券コード：8518）		
従業員数	単体21名／連結37名		
事業領域	プライベートエクイティ投資、プロジェクト投資		
役員	取締役会長（独立社外）	川俣 喜昭	： 取締役会議長
	代表取締役社長	下村 哲朗	
	取締役（常務執行役員）	八田 正史	
	取締役	大森 和徳	： 監査等委員長
	取締役（独立社外）	安川 均	： 監査等委員
	取締役（独立社外）	沼波 正	： 監査等委員
	取締役（独立社外）	片桐 春美	： 監査等委員

# JAIC

## 日本アジア投資株式会社

<https://www.jaic-vc.co.jp>

I Rに関するお問合せ先：執行役員 岸本、管理グループ 丸山

I Rに関するお問合せアドレス：ir@jaic-vc.co.jp

（ご注意）本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の業績数値は全て従来連結ベースにて表示しております。